

平成 18 年度当初予算 施策別概要

551 高速交通網の整備

55101 高速交通ネットワークの形成（政策部）

55102 高規格道路ネットワークの形成（県土整備部）

（主担当部：政策部）

< 施策の目的 >

（対象）県民が

（意図）空港、新幹線、高速道路など様々な高速交通ネットワークを利用して、全国、県内と活発な交流・連携ができるようになっている。

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
高速交通機関アクセス30分程度の市町村割合（％）	目標値	76.8	77	80	80
	実績 （見込み）値	76.8	77	82.7	-

県内の各市町村役場から最寄りのインターチェンジ等高速交通機関へ30分程度で到達できる市町村の割合。高速交通体系の利用可能性を示します。

< 平成18年度に残っている課題 >

中部国際空港へのアクセスについては、空港利用者の利便性向上や地域活性化を促進する観点から、海上アクセスがより発展していけるよう取り組みが必要です。

高規格道路ネットワークの形成については、国等の財政状況が大変厳しい状況にありますが、東海地震や南海地震等の大規模地震の発生が懸念されるなど、防災対策の面からも高規格道路の果たす役割は大きいことから、国に対して整備の促進等を要望する必要があります。

リニア中央新幹線については、実用化のための基本的な技術は確立したものの、信頼性・長期耐久性や建設コストの低減が課題となっています。

関西国際空港は、本格的な24時間空港として、また、乗り継ぎ利便性の高い航空ネットワークの拠点空港として重要な役割を果たしており、2本目滑走路を整備する必要があります。

< 平成18年度の施策の取組方向 >

中部国際空港への海上アクセスについては、関係者と一体になって利便性の向上や安全性の確保を図るとともに、松阪ルートの開設に向けて取り組みます。

第二名神高速道路については、期成同盟会での活動の他、民間の推進団体や沿線府県と協力し、早期整備の必要性を訴えていきます。

近畿自動車道紀勢線では、勢和多気～紀勢間を有料道路方式、紀伊長島～尾鷲間を新直轄方式で一体的に整備することで、勢和多気～尾鷲間が早期に供用されるよう国に強く働きかけていきます。

リニア中央新幹線については、引き続き関係都府県と連携して、早期実現に向けて国等に強く働きかけていくとともに、建設気運の醸成に向けて、広報、啓発活動に努めます。

関西国際空港の2期事業（2本目滑走路）については、国および関係府県市と連携して、2007年供用開始を目指します。

<主な事業>

中部国際空港海上アクセス高速船建造事業費補助金

【基本事業名：55101 高速交通ネットワークの形成】

当初予算 千円 142,500千円

事業概要：中部国際空港海上アクセス事業に必要な高速船を整備するため、松阪市が行う船舶建造事業に要する費用の一部に対して補助します。

(一部重)直轄道路事業負担金(高速道路網の整備)

【基本事業名：55102 高規格道路ネットワークの形成】

当初予算額： 3,377,999千円 3,957,000千円

事業概要：国が行う道路事業に対して負担金を支出することにより、県内の道路ネットワークの形成を促進し、県民生活の利便性、安全性の向上をはかります。

公共事業(高速交通網の整備)【基本事業名：55102 高規格道路ネットワークの形成】

当初予算額： 3,710,000千円 3,800,000千円

事業概要：高規格幹線道路の整備と連携した広域的な道路ネットワークの形成を進めます。

(重)高速道路関連施設整備対策事業費

【基本事業名：55102 高規格道路ネットワークの形成】

当初予算額： 80,000千円 90,000千円

事業概要：高速道路整備に関連する河川、砂防工事等を供用にあわせて整備します。

リニア中央エクスプレス関係費 【基本事業名：55101 高速交通ネットワークの形成】

当初予算額： 2,299千円 2,159千円

事業概要：東京 大阪間を1時間で結び、新たな交流・連携を促進するものであり、沿線都府県と連携し活動を行うとともに、親子試乗会、講演会等のPR活動を実施します。

(一新)関西国際空港費

【基本事業名：55101 高速交通ネットワークの形成】

当初予算： 375千円 75,279千円

事業概要：2007年供用開始に向け整備を行っている関西国際空港の2期事業に対して、出資および貸付により整備を推進していきます。